



ごあいさつ

徳島県技術士会会長 菊池昭宏
(技術士 建設部門)

令和7年度の徳島県技術士会会報“Vol.33”を発刊するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昭和42年8月に会員数12名で発足した当会も、現在、会員数197名(内、準会員4名)を擁する組織に成長しました。これもひとえに、諸先輩ならびに会員の皆さまのご支援、ご協力のお陰だと感謝しております。

昨年は1月1日の能登半島地震から始まり、9月にも再び能登半島で豪雨(複合)災害が発生しました。令和7年は1月28日に埼玉県八潮市で、老朽化した下水道管が原因とみられる大規模な道路陥没事故が発生し、インフラメンテナンスが抱える課題が一気に噴出しました。

また、グテーレス国連事務総長の“地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した”という言葉で示されるように、気候変動が極端化し、水害・土砂災害が激甚化・頻発化しています。さらには、政府の地震調査委員会が南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を、これまでの「80%程度」から「60~90%程度以上」に見直し“いつ起きてもおかしくない状況に変わらない”ことを強調しており、市町村における「事前復興計画」策定が急務となってきています。

このような中で、当会では、これまでも身の丈に合った、地域密着型の活動を展開してきました。今年も各部会、委員会のメンバーが試行錯誤しながら、様々な活動を実施しましたので、以下にその一例をご紹介します。なお、詳細につきましては会報誌面をご覧ください。

- ① 広報委員会：徳島県技術士会 会報 Vol. 33 を発刊 (R8 年 1 月 発送)
- ② 修習技術者支援委員会：技術士第二次試験の受験支援 (計 4 回開催)
技術士制度説明会：徳島大学常三島キャンパス (R7 年 4 月 24 日)
- ③ 出前講座委員会：阿南高専 4 年生 3 年生 (R7 年 6 月 23 日) , (R7 年 6 月 27 日)
- ④ HP 委員会&事務局：HP の維持更新・Web 会議 (適宜実施)
- ⑤ 事業委員会：第 101 回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナーetc. (R7 年 5 月 17 日)
- ⑥ 商工部会：商工部会サロン【里山林活性化による多面的機能発揮対策】 (R7 年 9 月 27 日)
- ⑦ 女性部会：四国なでしこ技術サロン(阿波 vol. 6)
(日本技術士会四国本部 男女共同参画推進小委員会との連携： R7 年 10 月 18 日)
- ⑧ 徳島県士業ネットワーク推進協議会 WG 第 1 回意見交換会 (R7 年 7 月 23 日)
- ⑨ 令和 7 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム (R7 年 9 月 5 日)

主催：(公社)地盤工学会四国支部、徳島県地盤工学研究会 共催：徳島県技術士会

最後になりましたが、来年度は、前述しました我々を取り巻く状況を踏まえ「事前復興」や「環境保全」などに資する活動を企画して、会員の皆さまの資質向上～地域貢献に繋がるよう取り組んでいく所存でございます。今後とも、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、会報発刊のご挨拶とさせていただきます。